

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 平成 29 年 3 月告示の中学校学習指導要領 保健体育 について、次の 1・2 に答えなさい。

1 次の文章は、 目標 を示したものです。下の (1)・(2) に答えなさい。

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の (ア) 等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、(イ) を養う。

(3) 生涯にわたって (ウ) とともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

(1) 文章中の (ア) ~ (ウ) に当てはまる語句を、それぞれ書きなさい。

(2) 文章中の下線部に関して、「保健の見方・考え方」とは、どのようなことですか。書きなさい。

2 次の文章は、指導計画の作成と内容の取扱い 1 (2) を示したものです。ここには、指導計画の作成に当たって、配慮する事項が示されています。文章中の (ア) ~ (ウ) に当てはまる数字は何ですか。それぞれ書きなさい。

(2) 授業時数の配当については、次のとおり扱うこと。

ア 保健分野の授業時数は、3 学年間で (ア) 単位時間程度配当すること。

イ 保健分野の授業時数は、3 学年間を通じて適切に配当し、各学年において効果的な学習が行われるよう考慮して配当すること。

ウ 体育分野の授業時数は、各学年にわたって適切に配当すること。その際、体育分野の内容の「A 体づくり運動」については、各学年で (イ) 単位時間以上を、「H 体育理論」については、各学年で (ウ) 単位時間以上を配当すること。

エ 体育分野の内容の「B 器械運動」から「G ダンス」までの領域の授業時数は、それらの内容の習熟を図ることができるよう考慮して配当すること。

2 体育分野の領域「体育理論」について、次の 1~4 に答えなさい。

1 平成 29 年 3 月告示の中学校学習指導要領 [体育分野 第 1 学年及び第 2 学年] 内容 H 体育理論 (1) ア (イ) には、「運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。」と示されています。見ること、支えること及び知ることとは、どのようなことですか。それぞれ簡潔に書きなさい。

2 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、運動やスポーツを継続しやすくするためには、自己が意欲的に取り組むことに加えて、運動やスポーツの継続に有効な 3 つの「間」を確保することも大切であるとされています。運動やスポーツの継続に有効な 3 つの「間」とは何ですか。それぞれ簡潔に書きなさい。

3 令和 4 年 3 月 25 日に、文部科学大臣が定めるスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針が策定されました。これを何といいますか。書きなさい。

4 発達の段階を踏まえて、適切に運動やスポーツを行うことは、心身両面への効果が期待できます。体と心にどのような効果がありますか。それぞれ簡潔に書きなさい。

6 中学校 保健体育科 問題用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

3 体育分野の領域「器械運動」について、次の1～4に答えなさい。

- 1 器械運動は、4つの運動で構成されています。「マット運動」以外にどのような運動がありますか。3つ書きなさい。
- 2 「マット運動」は、3つの技群に分類されています。側方倒立回転は、どの技群に分類されていますか。書きなさい。
- 3 次の図1・図2は、「マット運動」の技を行っている様子を示したものです。それぞれ何という技ですか。その名称を書きなさい。

図1

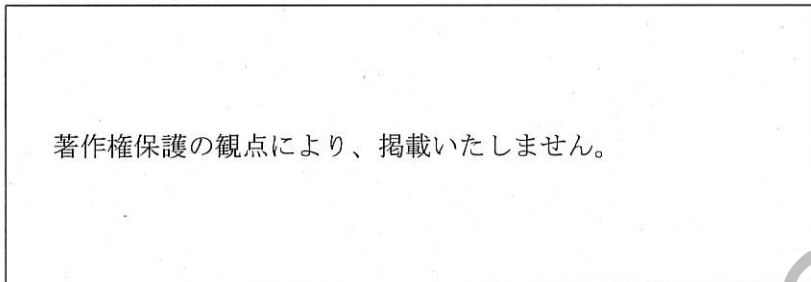
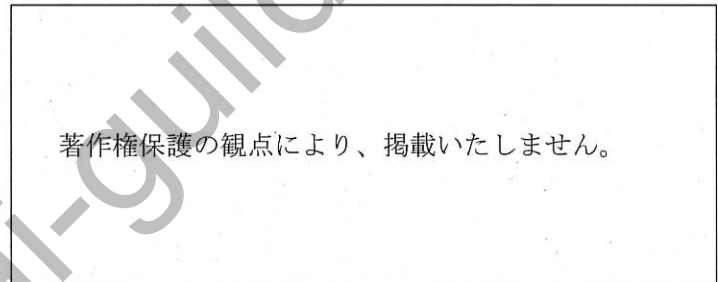
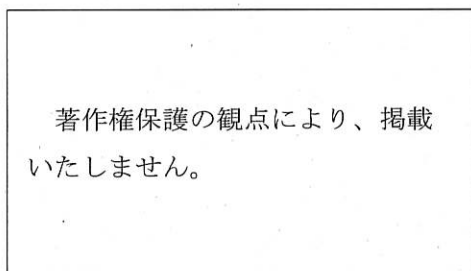


図2



- 4 次の図は、「マット運動」の倒立前転の学習において、倒立から前転するとき、つぶれた姿勢になってしまった生徒を示しています。このような姿勢になったのは、どのような技術的な要因が考えられますか。また、その要因を改善するためにどのような練習に取り組ませますか。それぞれ簡潔に書きなさい。



4 体育分野の領域「陸上競技」について、次の1・2に答えなさい。

- 1 「長距離走」について、次の(1)・(2)に答えなさい。
 - (1) 「長距離走」において、中学校第3学年の生徒に、自己に適したペースを維持して走ることを指導することとします。どのようなことに留意しますか。簡潔に書きなさい。
 - (2) ピッチ走法とは、どのような走法ですか。簡潔に書きなさい。
- 2 「走り幅跳び」について、次の(1)・(2)に答えなさい。
 - (1) 中学校第3学年の生徒に、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことを指導することとします。踏み切りでは、どのようなことに留意しますか。簡潔に2つ書きなさい。
 - (2) 「そり跳び」とは、どのような跳び方のことですか。簡潔に書きなさい。

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

5 体育分野の領域「球技」について、次の1・2に答えなさい。

1 「ゴール型 ハンドボール」について、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の表は、ハンドボールにおける主な違反行為とその内容を示したものです。表中の(a)～(c)に当てはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。

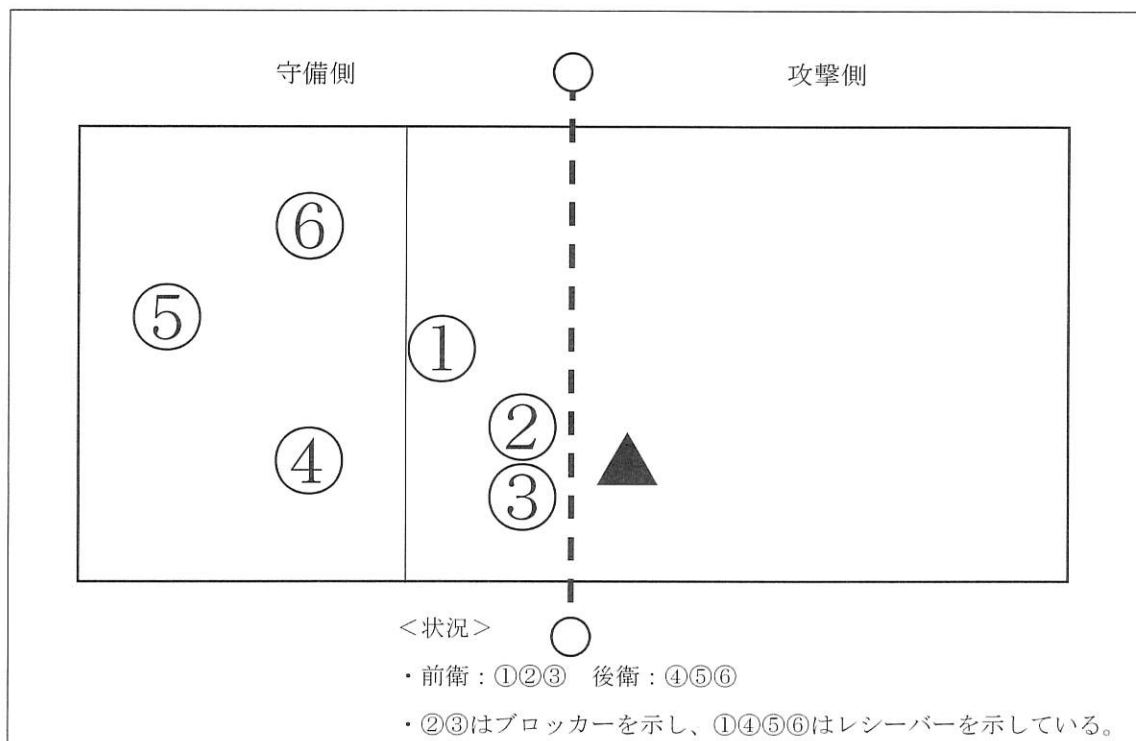
違反行為	内容
オーバータイム	(a)
オーバーステップ	(b)
(c)	攻撃しよう、あるいはシュートしようという意図を示さずに、チームがボールを所持しようとする。

(2) ブラインドシュートとは、どのようなシュートですか。簡潔に書きなさい。

(3) 前後半の開始時や得点后、プレーを始めるためにボールを投げることを何といいますか。その名称を書きなさい。

2 「ネット型 バレーボール」について、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の図は、「ネット型 バレーボール」のコートを示したものです。授業では、攻撃側の▲の選手が守備側に向かってスパイクを打つことを指導することとします。その際、得点できる確率を高めるため、2通りのスパイクを考えることとします。▲の選手に対し、どこにボールを落とすよう指導しますか。また、どのようなスパイクを打つよう指導しますか。2通りのスパイクについて、コート図にボールを落とす場所をそれぞれ●で示すとともに、●にボールを落とすためにどのようなスパイクを打つか、守備側の状況を踏まえてそれぞれ簡潔に書きなさい。なお、フェイントは無効とし、●はコートの内外いずれに示してもよいこととします。



(2) バレーボールにおいて、6人制と9人制ではルールが異なる点があります。6人制バレーボールのルールについて、9人制バレーボールのルールと異なる点は何ですか。簡潔に2つ書きなさい。なお、異なる点はプレーに関するルールとします。

(3) バレーボールにおいては、各チームは、守備専門の選手であるリベロプレーヤーを2名まで登録することができます。リベロプレーヤーは、バックプレーヤーとしてのみプレーすることができるため、通常のプレーヤーが行っても反則にならないプレーをリベロプレーヤーが行うと、反則になるときがあります。それはどのようなときですか。簡潔に3つ書きなさい。

6 中学校 保健体育科 問題用紙

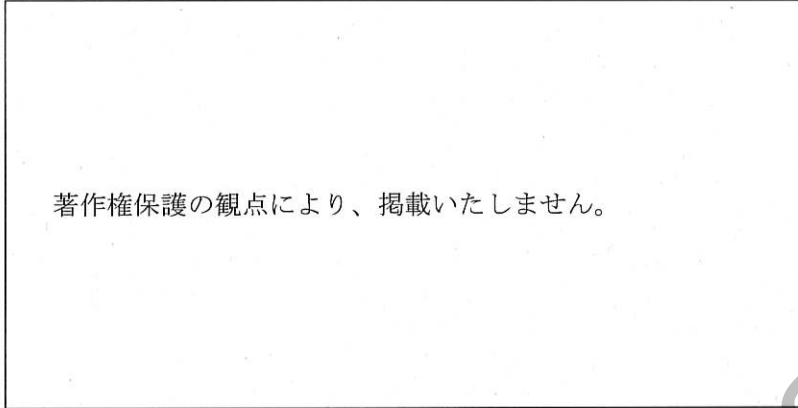
(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 体育分野の領域「武道」の「剣道」について、次の1～3に答えなさい。

- 1 次の図は、「剣道」のある技の一連の様子を示したものです。この技を何といいますか。技の名称を書きなさい。なお、図中のA・Bは、Aが打つ人、Bが受ける人を示しています。



- 2 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び剣道試合・審判細則に、禁止行為事項が示されています。剣道における禁止行為を、簡潔に3つ書きなさい。
- 3 次の図1～図4は、全日本剣道連盟剣道試合・審判運営要領にある、審判員の旗の表示要領の一部を示したものです。これらの旗の表示は、どのような事項を示していますか。それぞれ書きなさい。

図1

図2

図3

図4

著作権保護の観点により、掲載いたしません。	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	著作権保護の観点により、掲載いたしません。
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

7 保健分野の内容「健康な生活と疾病の予防」について、次の1・2に答えなさい。

- 1 医薬品には、主作用と副作用があります。薬の副作用に特に注意が必要な人は、どのような人ですか。簡潔に2つ書きなさい。
- 2 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の3つに大別されます。要指導医薬品と一般用医薬品の違いについて、生徒に説明することとします。どのような説明をしますか。2つの医薬品を比較して、簡潔に書きなさい。

6

中学校 保健体育科 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	1	(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
	(2)		
	2	(ア)	
		(イ)	
(ウ)			
2	1	見る こと	
		支える こと	
		知る こと	
	2		
	3		
	4	体への 効果	
		心への 効果	

6

中学校 保健体育科 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
3	1		
	2		
	3	図1	
		図2	
4	技術的な要因		
	練習		
4	1	(1)	
		(2)	
	2	(1)	
		(2)	

6

中学校 保健体育科 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	(1)	(a)	
		(b)	
		(c)	
	(2)		
	(3)		
5	(1)	コート 図	
		スパイク	
	2	(2)	
(3)			

6

中学校 保健体育科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄		
6	1			
	2			
	3	☒ 1		
		☒ 2		
		☒ 3		
☒ 4				
7	1			
	2			

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	(ア)	運動の特性に応じた技能		各 3 × 3	
		(イ)	他者に伝える力			
		(ウ)	運動に親しむ			
	(2)	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	2 4	
2	(ア)	48		各 3 × 3		
	(イ)	7				
	(ウ)	3				
2	1	見ること	テレビなどのメディアや競技場等での観戦を通して一体感を味わったり、研ぎ澄まされた質の高い動きに感動したりすること。	問いを正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3	
		支えること	運動の学習で仲間の学習を支援したり、大会や競技会の企画をしたりすること。			
		知ること	運動やスポーツの歴史や記録などを書物やインターネットなどを通して調べること。			
	2	・仲間 ・空間 ・時間		順序は問わない。 全部合っているものだけを正答とする。	5	2 9
	3	第3期スポーツ基本計画		4		
	4	体への効果	・身体の発達やその機能、体力や運動の技能を維持、向上させる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
		心への効果	・達成感を得たり、自己の能力に対する自信をもったりすることができる。 ・ストレスを解消したりリラックスしたりすることができる。			

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1 ・「鉄棒運動」 ・「平均台運動」 ・「跳び箱運動」	順序は問わない。 全部合っているものだけを 正答とする。	4	
	2 ほん転技群		4	
	3 図1 伸膝後転		各 4 × 2	
	図2 Y字バランス			
4	<p>技術的 な要因</p> <p>①倒立から前転するとき、体の力を抜いてしまう。 ②腰と膝の曲がり早い。</p> <p>練習</p> <p>①三点倒立により、頭頂・額及び両手で体を支持する感 覚を身に付けさせ、回転を始める際に、腰角を広く保 ったまま回転する練習をさせる。 ②背支持倒立の姿勢で腰と膝を伸ばす感覚を身に付け させ、補助倒立から前転の練習をさせる。</p>	1つ書かれていればよい。 技術的な要因と練習が対応 しているものだけを正答とす る。 問いを正しく捉えていれ ば、内容は異なってもよい。	10	
4	1 (1)	走る距離は、1,000～3,000m 程度を目安とするが、生徒の体力 や技能の程度や気候等の状況に応じて弾力的に扱うようにす る。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	6
	(2)	身長や速度と比較して、小さい歩幅で足の回転を速くする走法。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	4
	2 (1)	・踏み切りでは、上体を起こしてキックすること。 ・踏み切りでは、地面を踏みつけるようにキックすること。 ・踏み切りでは、振り上げ脚を素早く引き上げること。	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
	(2)	踏み切った後に空中で体全体を反らせた状態になり、その後、 両腕を下ろしながら両足を前方に出して着地する跳び方のこ と。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	6

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	(1)	(a) 3秒より長くボールを保持する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3	
		(b) ボールを持って4歩以上歩く。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		
		(c) パッシブプレー	パッシブプレイ もよい。		
	(2)	ディフェンスに隠れてうつシュート	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4	
(3)	スローオフ			4	
5	(1)	コート 図		2つ書かれていればよい。 コート図とスパイクが対応しているものだけを正答とする。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	5 3
		スパイク	強打のクロススパイクを打つ。		
		コート 図			
		スパイク	軟打のストレートスパイクを打つ。		
		コート 図			
スパイク	ブロックアウトをとるため、強打のストレートスパイクを打つ。		1 6		

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスは1回1本。 ・ブロックによる触球は回数に数えず、その後3回プレーできる。 ・同一チームの2人が同時にボールに触れたとき、2回ボールに触れたこととなり、その2人は連続してボールに触れることができない。 ・チーム第1球目の触球は1つの動作中であれば、体の2か所以上に連続して触れてもよい。 ・返球ボールがネットに触れた場合、ネットにかけたプレーヤーが続けてプレーしてはいけない。 ・ボールがネットに触れた場合でも、そのボールへの触球も含めて3回までの触球で返球しなければならない。 ・ブロックの場合に限り、相手コート内にあるボールにネットを越えて触れてもよい。 ・サービスしたボールは、ネット上を通過するときネットに触れてもよい。 ・バックプレーヤーは、ブロックに参加してはいけない。 ・センターラインを越えて相手コートに侵入してはいけない。 ・バックプレーヤーが、フロントゾーン内でネット上端よりも完全に高い位置にあるボールをヒットしてアタックヒットを行ってはいけない。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール全体がネット上端より高い位置にあるときに、リベロプレーヤーがアタックヒットを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、サービスを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、ブロック、またはブロックの試みを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、自チームのフロントゾーン内で指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールがネット上端より完全に高い位置にあるときに、他の選手がアタックヒットを行ったとき。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3

中学校保健体育科採点基準

5枚のうち5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1 払い面	すり上げ面 もよい。	4	
	2 <ul style="list-style-type: none"> ・ 禁止薬物を使用または保持する。 ・ 審判員または相手に対し、非礼な言動をする。 ・ 定められた以外の用具（不正用具）を使用する。 ・ 相手に足を掛けまたは払う。 ・ 相手を不当に場外に出す。 ・ 試合中に場外に出る。 ・ 自分の竹刀を落とす。 ・ 不当な中止要請をする。 ・ 相手に手をかけまたは抱え込む。 ・ 相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握る。 ・ 相手の竹刀を抱える。 ・ 相手の肩に故意に竹刀をかける。 ・ 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せなどになる。 ・ 故意に時間の空費をする。 ・ 不当なつば（鏝）競り合いおよび打突をする。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3	
	3	図1 引き分けのとき	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4
		図2 中止のとき		
図3 分かれのとき				
図4 反則のとき				
7	1 <ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギーのある人 ・ 過去にひどい副作用を経験したことがある人 ・ 医師の治療を受けている人 ・ 肝臓や腎臓など、薬の成分を代謝・排泄する臓器に疾患のある人 ・ 他にも薬を飲んでいる人 ・ 妊娠の可能性のある女性、妊娠している女性、授乳中の女性 ・ 高齢者 ・ 高いところで作業をする人 ・ 乗り物・機械類の運転操作をする人 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
	2 要指導医薬品は、薬剤師から対面での情報提供や指導を受けなければ購入できず、インターネットでの購入もできないのに対し、一般用医薬品は、症状などを自分で判断して薬局などで購入でき、インターネットでの購入もできる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	